

# People



「補助輪パスしてラクショーライダー  
12インチ・マリーゴールド」

## 第39期株主通信

(2015年1月21日から2016年1月20日まで)

# People

ピープルは、いわゆるベンチャー型企業です。ベンチャー企業とは研究・開発・能力の集約的発揮を意図する新規企業をいうのだそうです。それなら、何も今にはじまったものではありません。昔からある出版社や映画のプロダクション、ファッションの開発会社等は、皆、ベンチャーだし、ウォルト・ディズニーは近代的ベンチャーのはしりといえます。私たちは、それを玩具でやっています。

私たちの重要なテーマは「ビジネスとして有意な違い」を創りだすことです。だから商品だけでなく生産・販売・マーケティングなどのシステムの研究開発にも熱心に取組んでいます。かくして「違いのある商品と違いのある販売」がピープルのキーストンプレーズになりました。

一方で、オペレーションに関しては違いを出さない教科書通りを心がけています。すなわち、経理は公開主義で、株式は上場して独善を排し、会計・税務・法務・人事は外部の専門家のご意見を聞いて運営してきました。「欺かない・貪らない・侮らない」は、企業が健全に長続きして継承されて行くことを望んでいるピープルの経営姿勢です。

こうして、創業から30余年が経ちました。子供との新しい関わり方を提案する方法として玩具以外の表現が有効であれば、これからは例えば映像をやることにもなるでしょう。でも、ピープルはベンチャー型企業として主流・最大を目指すのではなく、「新しい風」を吹き込むことができる前衛企業であり続けたいと考えています。

ベンチャーは人だけが資産の事業です。勢い、才能やひらめきや僥倖に左右されがちです。才能らしきものを持たない私達がピープルにかけるささやかな夢は、ある朝突然授かるかもしれない神の啓示や天才の登場に頼らずに、おもちゃと人間が好きな普通の人たちの手で、優れた創造をコンスタントに産み出してゆく企業システムの開発なのです。

## 目次

第39期の概況	3	会社概要	11
カテゴリー別の概況	4	株式情報	12
TOPICS	6	株主総会のご報告	13
当期配当のご報告・リスク情報	7	株主の皆様へのご案内	14
財務諸表	8		

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはいつもひとかたならぬご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

ここに第39期事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期の玩具市場は空前のブームとなった“妖怪ウォッチ”や“アナ雪”が下火となり、従来の定番品への回帰傾向が顕著となりました。

そうした中、当社商品のカテゴリーでは、前年対比5割以上のめざましい伸びを記録した「遊具・乗り物」部門を筆頭に、「女兒玩具」部門、「知育玩具」部門のすべてのカテゴリーで対前年2ケタ増収となり、創業以来最高売上を記録しました。

一層の円安が進行する中、為替予約により為替変動の影響を最小限に抑える一方、製品の製造合理化や、価格の値上げ等で利益構造の改善をはかった結果、4期ぶりに営業利益率10%のガイドライン回復の目標を達成することができました。海外輸出の順調な進展も当期の大幅売上増に貢献しました。

これも、当期1年の努力の結果だけではなく、ここ数年の地道な研究や分析に基づく事業改革と、弊社商品を愛して下さるお母さまやお子さまなど消費者の皆様、そして応援して下さいる株主の皆様の励ましがあってこそその結果と考えております。

当期の成果を幸運による一過性のものに終わらせることなく、継続的な成長へと繋げるべく、執行部及び社員一同、一層気を引き締めて経営改善と新製品開発に取り組んで参ります。株主様には引き続きご支援の程、お願い申し上げます。



取締役兼代表執行役会長  
桐 澗 千鶴子



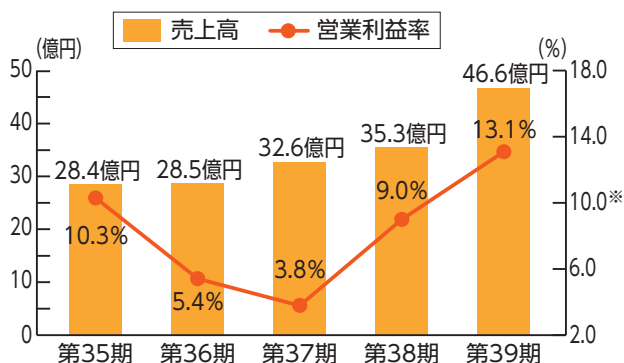
取締役兼代表執行役社長  
小 暮 雅 子

## 第39期の概況

### 第39期決算概要 (2015年1月21日～2016年1月20日)

		売上高比率	前期比
売上高	46億61百万円	100.0%	32.2%増
営業利益	6億11百万円	13.1%	93.2%増
経常利益	6億11百万円	13.1%	85.2%増
当期純利益	3億95百万円	8.5%	95.7%増
1株当たり当期純利益		90円19銭	
1株当たり純資産額		481円47銭	

### 〈売上高・営業利益率の推移〉



※売上営業利益率10%＝当社ガイドライン

### 〈財産及び損益の状況の推移〉

	第35期 2012年 1月期	第36期 2013年 1月期	第37期 2014年 1月期	第38期 2015年 1月期	第39期 2016年 1月期
売上高 (千円)	2,840,272	2,851,485	3,260,272	3,526,309	4,660,778
営業利益 (千円)	292,563	155,033	124,597	316,133	610,703
経常利益 (千円)	293,461	160,360	198,069	329,903	610,959
当期純利益又は 純損失 (△) (千円)	171,150	92,868	121,599	201,583	394,540
1株当たり 当期純利益又は 純損失 (△) (円)	39.18	21.23	27.79	46.08	90.19
総資産 (千円)	2,335,032	2,238,653	2,192,133	2,462,796	2,728,204
純資産 (千円)	1,891,421	1,816,456	1,872,134	2,015,956	2,106,163

当39期では円安ドル高が進んだことから輸入仕入価格が上昇したことに対し、前38期に引き続き価格値上げや効率化等の改善に取り組み、玩具・自転車両部門において想定以上の売上回復に漕ぎつけました。又、海外販売は売り伸ばしが進んだ上に、前年に比べ、ドル高に推移したことから売上増に寄与しました。その結果、当39期の国内・海外総売上高は46億61百万円となり、過去最高の売上高を記録しました。

営業利益では前年度に予約したUSドルを当期仕入に充当し、為替変動リスクを一定幅に抑え、売上総利益率を前年並みに維持出来た上に国内販売が増収したことから海外販売の増収分も含め営業利益増に結びつき、当期営業利益は6億11百万円となり、営業利益率は目標指標の「売上比10%以上」に4年ぶりに回復しました。

結果、経常利益は6億11百万円、当期純利益は3億95百万円となり、1株当たりの当期純利益は90円19銭となりました。

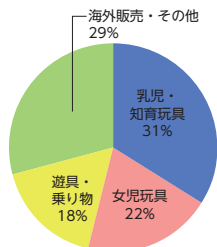
当39期の実績から他社に無い高付加価値商品、又、ユーザーの口コミの蓄積によりブランド化した商品、これらがカギを握り価格に左右されず需要を伸ばし売上増に繋がったという確信を得ました。さらに海外販売でも将来のグローバル化への手応えを得ました。



「小学生ピタゴラス」シリーズ

## カテゴリー別の概況

### 当39期の売上高構成比



カテゴリー	売上高	構成比
乳児・知育玩具	14億58百万円	31%
遊具・乗り物	8億51百万円	18%
海外販売・その他	13億55百万円	29%
合計	46億61百万円	100%

### 【乳児・知育玩具】

#### 《純国産》お米シリーズがインバウンド効果で売上増

期初よりピタゴラスシリーズ全種が著しい回転上昇を示し売上増に繋がりました。又、前年度発売の「小学生ピタゴラス」を小学1～2年、3～4年、高学年用（各税別3,480円）のラインナップにしたところ、書店流通にも採用され、これまでの就学前需要に加え小学生の教材玩具需要への拡大に突破口を開きました。

日本の消費者に年々広がりを見せる《純国産》お米シリーズはインバウンド効果でさらに拍車がかかり流通の好評価を得て、売上増につながりました。

乳幼児カテゴリーでは母親の清潔志向の高まりに着眼した布製の高級ベビー商品として、「Suzy's zooのキッチンイ」の開発に取り組みました。キャラクターギフト需要のシェア獲得に、次期40期に渡り継続強化してまいります。



「お米のつみき白米色」



作例“お馬”

### 【女兒玩具】

#### ぼぼちゃん動画が新たな宣伝ツールに

「ぼぼちゃんシリーズ」は前期にパッケージをスリム化したことで店頭陳列面が拡がり、更に店頭マーチャンダイジング効果もあり、人形購入者は当39期で月を追うごとに増えていきました。さらに値上げをしたお道具も人形の好調に連動し購入数が増加しました。又、ユーザーが動画サイトにアップする「ぼぼちゃんと子どもの動画」が販売促進に繋がり、これにより広告費を効率化できた上に売上増へと導きました。

前期に新種ままごととして発売した「2歳の洗い屋さんシンク」（税別5,300円）のシリーズとして「汚れが落ちる！包丁セット」（税別2,480円）を発売し、本物のお手伝いにつながる新しいままごととして購入された母親の満足度が高く、依然潜在ニーズの強さを示しています。



「ママになりきり！パーフェクトセット」

## 【遊具・乗り物】

### 消費者ニーズに対応したコンセプト自転車で カバレッジ拡大

自転車部門では「ラクショーライダー18インチ」を新たに12・14・16インチとサイズ展開したところ、消極的だった流通各社が関心を示し、カバレッジが広がりました。新しい試みとして安心安全を重んじる母親心理を意識した「ケアかじ16インチ自転車」（オープン価格）は他社の16インチには標準装備されていない<かじ取り棒>を付け発売しています。大型遊具では、「全身でブロック（増量版）」（税別14,999円）や「知育アスレチック」（税別19,999円）等が大手量販店で限定発売にも関わらず、想定以上の伸びを見せ、次期に向け拡大するチャンスをつかみました。

定番乗用「公園レーサー」はコストアップに伴うリニューアルの一環として、砂利道や草原でも走行しやすい「JARIMO」（税別4,980円）を発売し、近年の寡占市場に新たな選択肢を提案しています。



「公園レーサー JARIMO（ジャリモ）」

## 【新規事業】

### 高付加価値商品で新たな市場にチャレンジ

キッズファニチャーでは大幅なコストアップに伴い、付加価値を高め、大幅な値上げに踏み切りました。1歳向け「登れる！ハイチェア」（従来参考売価税込14,800円）を5千円程アップさせる決断をし、月齢6か月で早期に買われる需要向けに、特別設計で背もたれクッションや玩具ホルダーを付けた「きちんと座れるハイチェア」を発売し、実売価格2万4千円（税込）想定と、輸入ブランド並みの価格で挑みました。「1歳が集中！テディチェア」（オープン価格）は現代の住環境向けにインテリアとしても可愛い、違いのあるお子様の居場所をコンセプトとして発売しております。



「1歳が集中！テディチェア（ライラック）」

## 【海外販売・その他】

### 「MAGNA-TILES」販路拡大

日本市場で販売良好の「ピタゴラス」の米国仕様「MAGNA-TILES」が米国内の大手量販店に並び始め、より多くの消費者の目に触れるようになり、ブランドが浸透し始めている様子です。



ぼぼちゃん  
生誕20周年

▲ 20周年限定プレミアム

愛情いっぱい  
おしゃべりぼぼちゃん

▲ 1996年発売

カバーオールとあそび着のぼぼちゃん

日本の赤ちゃんの顔を丹念に研究、抱き人形をぬいぐるみのような柔らかい感触にすることを実現し、1996年に愛情のおけいこシリーズ「たんぼぼのぼぼちゃん」が誕生しました。

誕生から累積500万体のぼぼちゃんがお子様達の手に渡り、最近では20年前に遊んでいた女の子が母となり「娘にもぼぼちゃんを！」と母娘2世代に渡り愛される抱き人形となりました。

近年、一般のお母さんやお父さんがYouTube等に「ぼぼちゃんとお道具で遊ぶ我が子」の動画をたくさんアップして下さり、その動画を視聴する習慣がお子様達の間でブームになっています。本物そっくりのお道具も動画で生きてくるのか、再生回数が何千万回と人気動画の1つに。お子様達は「こんな遊び方があるの?」「このお道具が欲しいな!」と目をキラキラさせながら楽しんでいるようで、この動画効果も手伝って、抱き人形の定番「ぼぼちゃん」ファンは着実に増えてきています。



幼児用自転車の  
定番ブランドに

2001年10月に「いきなり自転車」を発売し、自転車事業に参入して今年で15年。

お子様と親御さんそれぞれのニーズに応えた商品性が評価され、幼児用自転車の定番ブランドとして認知されるまでになりました。

今年から「30万人のママが太鼓判! ピープルの自転車」をキャッチフレーズに展開していきます。



2歳でぴったり足が付き、6歳まで長く乗れる  
自転車デビューの定番アイテム

「ピープルじてんしゃ〈かじとり式〉」  
12・14インチ



3歳の運転はまだ目が離せない!  
「ケアかじ」付きでもしもの時も安心

「ピープルじてんしゃ〈かじとり式〉\*ケアかじ」  
16インチ



足けりモードでバランス感覚が養われるから、ペダルをつけたら、すんなりと補助輪要らずにスイスイ

「補助輪パスしてラクショーライダー」  
12・14・16・18インチ

## 当期配当のご報告

### 当期の配当

1株当たり当期純利益が90円19銭となった業績結果を受け、決算取締役会にて1株当たり90円00銭と決議いたしました。

### 配当の推移

	第37期 (2014年1月期)	第38期 (2015年1月期)	第39期 (2016年1月期)
当期純利益 (千円)	121,599	201,583	394,540
1株当たり配当額 (円)	27.00	46.00	90.00
配当総額 (千円)	118,117	201,226	393,697
配当利回り (%)	4.5	5.2	3.9
自己資本比率 (%)	85.4	81.9	77.2

<剰余金の配当決定機関>

剰余金の配当について、法令に別段の定めがある場合を除き、株主総会の決議によらず、取締役会の決議により定めることを定款に定めております。

### 利益配分に関する基本方針

#### 1) 自己資本の蓄積について

短期資金調達、取引先からの信用獲得の観点から自己資本比率は55～65%の確保で充分ですが、現況の業界の流動性、不透明性から、しばらくは現状の過剰留保をお許し頂きたいと考えております。

#### 2) 安定配当政策は今後も行いません

既製品の持続性が弱く、且つ、新製品の成否が予測し難い業種であり、それゆえに「持続性」を最重視した経営に徹しています。しかし、消費者ニーズの流動性は避けがたく、決算時の業績をほぼそのまま配当政策に反映させて頂く、株式公開以来の方針を今後も継続して参ります。

## リスク情報

当社の経営成績、株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

### 中国・ベトナム生産リスクについて

当社はOEM生産委託商品のほとんどを中国生産に依存しており、中国情勢等の影響を受けるリスクを持っています。中国の物価高、人件費の高騰は今後も予想され、更なる直接製造原価増の影響を受けるリスクを持っています。又、近年一部の生産を移動したベトナムにおいても人件費の上昇は避けられない問題としてリスクがあります。

### 為替レートの変動リスクについて

当社の生産は海外工場に委託し、その製造に掛かる費用、仕入代金の決済は主として米ドル建てとしている為、市場為替レートが価格設定時のレートより円安又はドル高に進行した場合は原価高となり利益を圧迫するリスクがあります。又、中国元の対米ドルレートの変動は仕入価格そのものに影響します。米ドルの変動は輸出販売においても発生し、前期比ドル安となると売上減少に直接影響するリスクがあります。

### 流通の集約化と販路の偏りのリスク

この数年で流通の集約化が更に進行したことに伴い、日本トイザらス株式会社と株式会社ハピネットの2社で国内売上高の約7割を占める販売シェアとなり、その偏りのリスクがあります。

### 貸倒にかかるリスクについて

当社では、ルールを定め与信管理を得意先別に行っており、また、常に取引信用保険を付保するなど貸倒れによる損益への影響を最小限に留める努力をしておりますが、売上債権取引信用保険で充分カバー出来ない取引額のケースもあるので、今後も警戒を必要とする状況が続きます。



財務諸表 — 貸借対照表 Balance Sheets —

(単位：千円 / in Thousands of Yen)

期 別 Accounting periods		2015年1月期 (2015年1月20日現在) January 20, 2015	2016年1月期 (2016年1月20日現在) January 20, 2016	増減額
科 目 Accounts		金 額 Amount	金 額 Amount	
<b>資産の部</b>	<b>Assets</b>			
<b>流動資産</b>	<b>Currents assets</b>	2,277,118	2,514,904	237,785
現金及び預金	Cash and time deposits	1,446,444	1,494,083	47,639
受取手形及び売掛金	Notes and accounts receivable-trade	423,996	560,112	136,116
商品及び原材料	Merchandise and raw materials	284,370	410,307	125,937
その他	Other	123,114	51,467	△ 71,647
貸倒引当金	Allowance for doubtful accounts	△ 806	△ 1,064	△ 259
<b>固定資産</b>	<b>Fixed assets</b>	185,678	213,301	27,623
有形固定資産	Tangible fixed assets	67,122	93,578	26,456
無形固定資産	Intangible fixed assets	2,471	1,970	△ 501
投資その他の資産	Investments and other assets	116,085	117,753	1,668
<b>資産合計</b>	<b>Total assets</b>	<b>2,462,796</b>	<b>2,728,204</b>	<b>265,408</b>
<b>負債の部</b>	<b>Liabilities</b>			
<b>流動負債</b>	<b>Current liabilities</b>	392,911	567,612	174,701
支払手形及び買掛金	Notes and accounts payable-trade	152,547	232,509	79,962
未払い法人税等	Accrued income taxes	126,660	163,321	36,662
その他	Other	113,704	171,782	58,077
<b>固定負債</b>	<b>Fixed liabilities</b>	53,929	54,429	500
長期未払い金	Long-term accounts payable-other	50,000	50,000	-
繰延税金負債		3,929	4,429	499
<b>負債合計</b>	<b>Total liabilities</b>	<b>446,840</b>	<b>622,041</b>	<b>175,201</b>
<b>純資産の部</b>	<b>Shareholders' equity</b>			
<b>株主資本</b>	<b>Shareholders' equity</b>	1,928,350	2,121,515	193,166
資本金	Capital stock	238,800	238,800	-
資本剰余金	Capital surplus	162,705	162,705	-
利益剰余金	Retained earnings	1,560,556	1,753,870	193,314
自己株式	Treasury stock	△ 33,712	△ 33,860	△ 148
評価・換算差額等	Revaluation, translation adjustments and others	87,606	△ 15,352	△ 102,958
<b>純資産合計</b>	<b>Total shareholders' equity</b>	<b>2,015,956</b>	<b>2,106,163</b>	<b>90,208</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>Total liabilities and shareholders' equity</b>	<b>2,462,796</b>	<b>2,728,204</b>	<b>265,408</b>

財務諸表 — 損益計算書 Income Statements —

(単位：千円 / in Thousands of Yen)

期 別 Accounting periods	2015年1月期 (自2014年1月21日 至2015年1月20日) Year ended January 20, 2015		2016年1月期 (自2015年1月21日 至2016年1月20日) Year ended January 20, 2016		前期比 % vs. prior year
	金 額 Amount	百分比 sales ratio	金 額 Amount	百分比 sales ratio	
科 目 Accounts					
売 上 高 Net sales	3,526,309	100.0%	4,660,778	100.0%	132.2%
売 上 原 価 Cost of sales	2,221,688	63.0%	2,931,734	62.9%	132.0%
売 上 総 利 益 Gross profit	1,304,620	37.0%	1,729,045	37.1%	132.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 Selling, general and administrative expenses	988,488	28.0%	1,118,342	24.0%	113.1%
営 業 利 益 Operating income	316,133	9.0%	610,703	13.1%	193.2%
営 業 外 収 益 Non-operating income	13,771	0.4%	1,917	0.0%	
営 業 外 費 用 Non-operating loss	—		1,661	0.0%	
経 常 利 益 Ordinary income	329,903	9.4%	610,959	13.1%	185.2%
特 別 利 益 Extraordinary income	—		432	0.0%	
特 別 損 失 Extraordinary loss	10	0.0%	46	0.0%	
税 引 前 当 期 純 利 益 Income before income taxes	329,893	9.4%	611,345	13.1%	185.3%
法 人 税 等 Income taxes	128,309	3.6%	216,805	4.7%	169.0%
当 期 純 利 益 Net income	201,583	5.7%	394,540	8.5%	195.7%

たな卸資産の償却状況

	第35期 (2012年1月期)	第36期 (2013年1月期)	第37期 (2014年1月期)	第38期 (2015年1月期)	第39期 (2016年1月期)
評価減金額 (千円)	6,320	11,089	27,549	32,900	22,072
売上比率	0.2%	0.4%	0.8%	0.9%	0.5%

一般的に、たな卸資産管理では売上が下がると在庫増となりますが、当社の場合は売上が下がると即、減産する体制となっており、向こう3ヶ月の需要予測を精密に行い過剰在庫とならない調整を毎月行っております。毎期末時点では、当期販売力が伴わなかった新製品等も含め商品力の衰えそうなものを有税で償却し、健全な在庫に評価し直し、翌期に負の資産を残さないようにしております。当39期に実施した評価減金額は22,072千円となり、売上対比では0.5%と低水準に留まりました。

## 財務諸表 — キャッシュ・フロー計算書 Statements of Cash Flows —

(単位：千円 / in Thousands of Yen)

期 別 Accounting periods		2015年1月期 (自2014年1月21日 至2015年1月20日) Year ended January 20, 2015	2016年1月期 (自2015年1月21日 至2016年1月20日) Year ended January 20, 2016
科 目	Accounts	金 額 Amount	金 額 Amount
営業活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from operating activities	293,855	353,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from Investing activities	△ 70,797	△ 105,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	Cash flows from financing activities	△ 117,740	△ 200,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	Effect of exchange rate changes on cash and cash equivalents	△ 9	233
現金及び現金同等物の増減額	Net changes in cash and cash equivalents	105,308	47,547
現金及び現金同等物の期首残高	Cash and cash equivalents at beginning of year	1,341,042	1,446,350
現金及び現金同等物の期末残高	Cash and cash equivalents at end of year	1,446,350	1,493,897

(営業活動によるキャッシュ・フローについて)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益計上が大きく占めており、また、売上高増加に伴う売上債権の増加（資金の減少）、および次期発売品等のたな卸資産が増加（資金の減少）し、3億53百万円の収入（前期比較では59百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フローについて)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に金型等固定資産の取得による1億5百万円の支出（前期比較では34百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フローについて)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により2億1百万円の支出（前期比較では83百万円の減少）となりました。



「ジムに変身！ 頭と体の知育アスレチック」

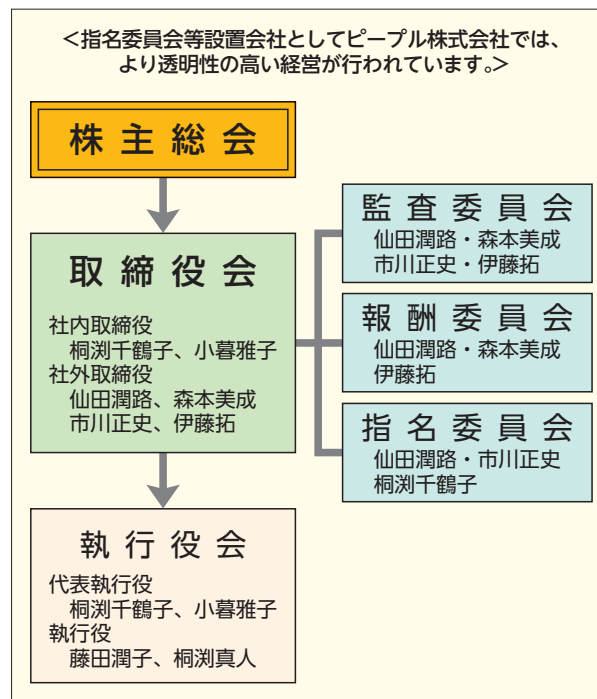
## 会社概要 (2016年4月13日現在)

<b>社名</b>	ピープル株式会社 (証券コード7865)
<b>設立</b>	1977年 (昭和52年) 10月1日 <1982年 (昭和57年) 2月玩具事業開始>
<b>所在</b>	東京都中央区東日本橋2-15-5 モビルディング TEL 03-3862-2768 (代表) FAX 03-3862-3730 (代表)
<b>資本金</b>	2億3,880万円
<b>市場</b>	(株)東京証券取引所ジャスダックスタンダード市場
<b>主な事業</b>	玩具・遊具・自転車・家具の企画開発 及び委託生産による販売
<b>社員数</b>	女性38名 男性6名 計44名
<b>役員</b>	取締役兼代表執行役会長 桐 洵 千鶴子 取締役兼代表執行役社長 小 暮 雅 子 社外取締役 仙 田 潤 路 社外取締役 森 本 美 成 社外取締役 市 川 正 史 社外取締役 伊 藤 拓 執行役 藤 田 潤 子 執行役 桐 洵 真 人
<b>会計監査人</b>	有限責任 あずさ監査法人
<b>取引銀行</b>	三菱東京UFJ銀行浅草橋支店 三菱UFJ信託銀行本店 三井住友銀行浅草橋支店 みずほ銀行浅草橋支店

## 会社の機関

2016年4月13日の当社定時株主総会終了後の取締役会にて、執行役と各委員 (下図ご参照下さい) を決定いたしました。第40期は下記の体制で運営して参ります。

図のように経営のトップは「取締役会」であり、当社には一般的な「代表取締役社長」という役職そのものが、経営組織にありません。執行役は業務執行にあたる役割で、桐洵千鶴子、小暮雅子、藤田潤子、桐洵真人の4名が任命されております。



## 会社概要

### 経営方針

#### 1. 会社の経営の基本方針

当社は、以下を経営基本方針としております。

- 1) 持続可能な株主利益の最大化を追求いたします。
- 2) 新しい商品の研究開発に経営資源（主に人材）を重点投資するベンチャー企業として、常に挑戦を志し、参入する分野に新しい風を吹き込むことを生き甲斐としています。
- 3) 「継続は力」を信じ、拡大を目指して売上目標の設定から入る予算及び経営計画を排し、「経営構造のバランス」を重点に管理する経営に徹します。

#### 2. 目標とする経営指標

当社では売上ではなく徹底して経営構造を維持することにこだわることが要と考えております。また、目標とする経営指標は、営業利益の確保にあて、以下を継続して参ります。

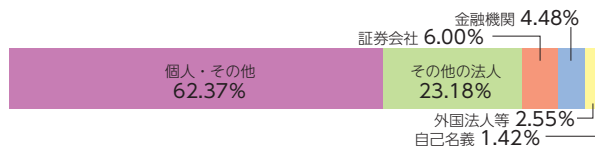
- 1) 売上営業利益率のガイドラインは10%以上を継続すること。
- 2) 小さい市場でも、母親と子供のニーズに応えられる商品が創られていないなら、四苦八苦しながら新製品をひねり出していくこと。
- 3) そのための人材育成は従来通り手造りで新卒社員を育てていくこと。

## 株式情報（2016年1月20日現在）

### 株式の状況

発行可能株式総数	17,937,500株
発行済株式の総数	4,437,500株
株主数	3,481名

### 所有者別の分布状況（株式数）



### 大株主

氏名又は名称	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社バンダイナムコホールディングス	888.0	20.01
吉田知広	131.1	2.95
桐  洵  真一郎	130.0	2.92
桐  洵  千鶴子	100.0	2.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	93.0	2.09
市川正史	90.0	2.02
株式会社SBI証券	77.4	1.74
岡三証券株式会社	75.0	1.69
桐  洵  真人	72.0	1.62
梅田泰行	60.0	1.35
計	1,716.5	38.64

- ・自己株式63,088株を保有しています。発行済株式総数に対する割合は1.42%となっています。
- ・当社は、2005年より株式会社バンダイナムコホールディングスの持分法適用会社となりました。バンダイナムコグループに属してはおりますが、経営につきましては独立性を保ち、指名委員会等設置会社として所有および監視と、事業計画立案および経営を明確に分離させた体制で、従来通り事業を継続いたしております。

## 株主総会のご報告

2016年4月13日（水曜日）午後2時より「鉄鋼会館8階会議室」において第39回定時株主総会が開催され、次のとおり報告ならびに決議されました。

### 報告事項

第39期（2015年1月21日から2016年1月20日まで）事業報告、計算書類の報告を行いました。

### 決議事項

#### 第1号議案 定款一部変更の件

社外取締役適切な人材の招聘を容易にし、期待される役割を十分に発揮できるようにするため、会社法第427条第1項の責任限定契約に関する規定に基づき、社外取締役と責任限定契約を締結することができる旨の規定として、定款第32条（取締役の責任免除）に第2項を新設しました。

#### 第2号議案 取締役6名選任の件

本件は原案どおり承認可決され、取締役役に桐渕千鶴子、小暮雅子、仙田潤路、森本美成、市川正史、伊藤拓の6氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、仙田潤路氏、森本美成氏、市川正史氏、伊藤拓氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。



「登れる！ハイチェアプレミアム（グリーン）」

## 株主総会および懇談会にて 株主様よりいただいた質問および当社の回答

### 為替予約に関して

**Q1** 当社が為替予約を行う目的を教えてください

**A1** 翌期の仕入原価を固定する目的でヘッジ会計により為替予約を行っています。

これにより、営業利益内の為替の変動による業績への影響を一定の範囲に留めています。

**Q2** 貸借対照表の「繰延ヘッジ損益」が39期はマイナスになっています。

その理由を教えてください

**A2** 当社はヘッジ会計を導入しており、翌期の仕入決済のためにUS\$を為替予約しています。39期の期末日の為替レートが予約レートより円高だった為、繰延ヘッジ損益がマイナスとなりました。

**Q3** 1円の円高がどのくらい業績に影響が出ますか

**A3** 当社は国内販売用の仕入決済の為にUS\$を予約し翌期の事業計画に組み込んでいます。一方、輸出はUS\$による入金となりますが、現状では国内販売が主体であり、海外販売額が翌期にいくらかは見通せない段階です。よって1円の円高で業績にいくらか影響が出るかを計算していません。

### 配当金について

**Q1** 当社は定款で取締役会決議により配当金額を決定できると定めている為、仮に配当金が不十分でも株主が提案することができないのは問題ではないか。

**A1** 当社は、翌期の資金需要等を鑑みた上、残った利益の100%を配当に回すことを創業来の方針としています。その方針に今後も変わりはなく、これに基づき取締役会にて配当金額を決議します。また、取締役は株主総会にて選任いただいています。

## 株主の皆様へのご案内



← IR情報は  
こちらを  
ご覧ください

← 新製品情報など  
最新トピックスを  
掲載しております

← 全商品  
ラインナップを  
こちらで紹介  
しています

ピープルのWEBサイトでは  
最新ニュースや商品・IR情報を  
発信しています。  
ぜひご利用ください!

WEBサイトのご案内  
<http://www.people-kk.co.jp/>

ピープル

検索

Click!

## IRスケジュール



※上記以外の開示情報についてはWEBサイトをご確認ください。

## 株主メモ

事業年度	／ 1月21日から翌年1月20日まで
基準日	／ 毎年1月20日（中間配当を実施するときは毎年7月20日）
定時株主総会	／ 毎年4月開催
単元株式数	／ 100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	／ 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	／ 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
公告方法	／ 電子公告により行う 公告掲載URL： <a href="http://www.people-kk.co.jp/">http://www.people-kk.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します）
住所変更・買取請求・その他の お手続きについて	／ 左記については、株券電子化以降、原則として口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご了承下さい。

# People

証券コード：7865

ピープル株式会社  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-5 モリビルディング  
TEL 03-3862-2768 FAX 03-3862-3730  
ホームページアドレス <http://www.people-kk.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

印刷：宝印刷株式会社